

# 「精神的な苦痛軽減」



## がん「緩和ケア外来」新設

### 製鉄記念室蘭病院

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院（松木高雪院長）は、がん患者や家族の身体的・精神的苦痛を和らげる専門外来「緩和ケア外来」を新設した。ホスピスを設置する洞爺温泉病院（洞爺湖町）の中谷玲二院長が診療を担当する。診察は7日からスタートしており、中谷医師は「がんの治療を進める患者さんに対して、精神的なケアを進めていきたい」と話している。

（松岡秀宣）

がんの痛みを抑えたり、症状をコントロールしたりする緩和ケア外来の設置は、今年4月に「北海道がん診療連携指定病院」の指定を受けた体制整備・充

実の一環。

同病院では、がん診療センター開設（2014年6月予定）も控えるが、緩和ケア外来では「がんの専門病院として、がんを告知された患者さんのダメージの軽減」（緩和ケア科長・前田征洋副院長）も進める考えだ。

緩和ケア外来は、ターミナルケア（終末期医療）が中心のイメージも定着している現状だ。

同病院では、がんと診断されたから治療を始めた、治療の継続中など、がんと診断された患者や、その家族らの精神的な

苦痛を和らげるケアについても、積極的に進めるといふ。

診療は7日からスタートし、中谷医師のほか、緩和ケア認定看護師の青郷裕美看護課長らによるチーム医療を推進。「専門的な立場の人間が、患者さんや家族らの精神的な苦痛を軽減させる」（中谷医師）ことに主眼を置き、処置だけでなく相談にも時間を割くなど、患者や家族の悩みにも対応していく。

前田副院長は、緩和ケア外来新設の意義について、「患者と家族が可能な限り、質の高い療養生活を送れるよう、少しでも患者さんの身体症状の緩和や、精神・心理的な問題への援助ができれば」と話している。

診療日は隔週火曜日で、診療時間は午後2時～同4時。完全予約制。緩和ケア科の予約など、問い合わせは製鉄記念室蘭病院（電話番号 0143・44局4650番）へ。

中谷医師（手前）に（後列左から）青郷看護課長、前田副院長ら製鉄記念室蘭病院緩和ケア外来のスタッフ